

愛知県立一宮南高等学校では総合的な探究の時間を活かし、生徒が主体的に取り組む探究学習を行っています。また、ボランティア部があり、さまざまな活動をしています。今回は探究学習とボランティア部について紹介します。

## ■総合的な探究の時間とは🔍

探究学習とは、身近な疑問や社会の課題を見つけ、その解決に向けて自分なりの答えを追究していく学習活動です。なお、この探究学習の愛称を“Bridge”（ブリッジ）と名づけ「生徒の学びが、教科との架け橋、地域社会、そして、未来の架け橋となるような学びの機会を創出したいという願い」を込めています。

探究の時間では、学年が進むごとに自分なりの課題をより深く追究できるよ、3年間を通して段階的に学びを積み重ねられる構成になっています。



## ■各学年の学びの内容

### 1年生：自己理解

まずは自分の好きなことや得意なこと、興味のあることを知り、それを活かせる仕事や働き方を見つけていきます。

### 2年生：テーマ探究 × 企業インタビュー

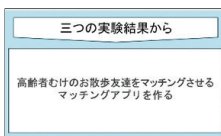
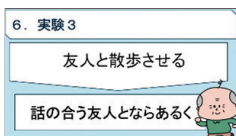
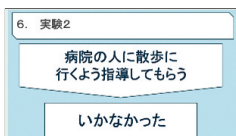
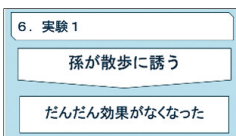
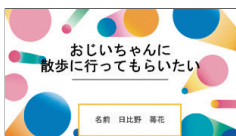
自分で設定した「問い」をもとに、協力企業へインタビューを行います。

実際に働く方々からお話をうかがい、その学びをもとに一人ひとりが課題解決のためのアイデアを検討していきます。2年生のまとめとしてクラス報告会を実施し、そこで選ばれた生徒は、さらなる発表の場である「SDGs探究成果発表会」にて、自分の考えた内容をプレゼンし、学びを深めていきます。なお、3年生では外部のコンテストに応募することを通して、自分の考えた内容をさらにブラッシュアップしていきます。



## ■探究テーマ紹介🔍

今回は、「2024年度SDGs探究成果発表会」で発表された方の中から、日比野 蓼花さん（現在3年生）の「おじいちゃんに散歩に行ってもらいたい」の内容の一部をご紹介します。



このテーマを選んだ理由は、おじいちゃんが以前のように散歩へ行かなくなってしまったことがきっかけです。そこで、おじいちゃんに歩いてもらうために、孫が散歩に誘ったり、病院のスタッフの方に散歩を勧めてもらったりするなど、いくつかの実験をしました。しかし、どれも大きな効果は見られませんでした。

ところが、おじいちゃんは「話の合う友人」と一緒にいると、自然と散歩に出かけることが分かりました。そこで私は、高齢者がお散歩仲間を見つけられるマッチングアプリを作るというアイデアにたどり着きました。

探究活動を通して、こういったアプリが開発され、多くの高齢者の方が無理なく外に出るきっかけを得て、健康に過ごす時間が増えればいいなと感じました。

## ■ボランティア部活動紹介

ボランティア部では、月に1度千秋児童館で活動をしています。

毎月の内容は部員同士でアイデアを出し合って決めており、マジックやクイズ、ぬいぐるみ渡しリレーなどたくさんのネタを準備しています。“楽しんでほしい”という気持ちで活動しているので、児童の皆さんからの「ありがとう」や、名前でもらえることがとても嬉しく、毎回やりがいを感じながら交流しています。



ぬいぐるみ渡しリレーの様子